

令和5年度 西海市立大串小学校 自己評価書

本年度の重点努力目標

- 1 【確かな学力】授業の充実と確かな学力の定着 3 【健やかな体】体力の向上と健康安全教育の推進  
 2 【豊かな心】心の教育の推進と生徒指導の充実 4 【信頼される学校】信頼と協力による開かれた学校づくり

評価項目（評価指標）	そのための具体的な方策・手立て	評価ABC	その根拠（評価は4点満点）	考察・分析及び改善策等
1 確かな学力 ○学ぶ喜びを味わえる授業づくり ○基礎基本の定着 ○家庭学習の工夫と継続 ○学習規律の徹底 ○外国語・外国語活動教育の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の「めあて」の設定と「まとめ」の実施</li> <li>・読解力の育成</li> <li>・ICT機器の有効活用</li> <li>・聴く力や話す力の育成</li> <li>・あきらめずに課題と向き合おうとする心の育成</li> <li>・漢字博士、課題テストへの取組</li> <li>・スキルタイム・定着タイムの活用 算数の強化</li> </ul>	B	1 内部評価 児童 保護者 職員 めあてとまとめ 3.6 3.2 3.3 ICT活用 3.6 3.3 2.9 書く活動 3.3 3.2 3.2 話し合い活動 3.3 3.3 3.3 家庭学習 3.5 3.2 3.4 学習規律 3.3 3.1 3.3 漢字・計算力 3.4 3.2 3.7 2 地区学校評価 学習・生活の規律 3.9 めあてにそって意欲的 3.9 よくわかる授業 3.9 3 学力テスト結果 (R5.4) 大きく上回る◎ 上回る○ 同等□ 下回る△ 国語 算数 6年全国学テ △ □ 5年県学テ ○ □ 4年市学テ ◎ ○ 4 漢字コンクールへの取組 1 学期の漢字博士 39% 2 学期の漢字博士 57%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・保護者・地区の評価結果については昨年度とそれほど大きな変化は見られなかった。学校目標の達成に向けて、職員が一丸となって取り組んだ成果と思われる。</li> <li>・ICT活用について、教職員のポイントが低くなっている。これは、職員によって活用のスキルに差があるためだと思われる。今年度は、放課後に定期的なICT研修を行い、まずは職員が「知ること」「楽しむこと」に重点を置いて実践している。</li> <li>・4月の学力テストにおいて、各学年の課題をもとに、6年生は「表現力・読解力」向上のための新聞活用、全学年で、「振り返りを書く」「聞き方あいうえお」等の共通実践を行っている。</li> <li>・基礎基本の定着のための取組である年3回の漢字コンクールにおいて、漢字博士を目指して子供たちが意欲的に取り組んでいる。学期ごとに、漢字博士達成率が向上している。</li> </ul>
2 豊かな心 ○道徳の時間の充実 ○特別支援教育の推進 ○コミュニティ・スクール共通目標の実践 ○体験活動の推進 ○読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間の充実と道徳的実践力の育成</li> <li>・ニーズに応じた特別支援教育の推進</li> <li>・「あいさつ・返事・ありがとう」を相手や場を意識して自分から言える指導</li> <li>・勤労の喜びを味わわせ責任感を育てる体験活動の実施</li> <li>・朝読書</li> <li>・読書ボランティア</li> </ul>	A	1 内部評価 児童 保護者 職員 道徳性 3.8 3.4 3.6 一人一人を大切に 3.9 3.4 3.6 あいさつ返事ありがとう 3.5 3.3 2.9 勤労・責任感 3.4 3.5 3.2 読書活動 3.1 3.0 2.8 2 「誰も一人にしない」体制づくり ・特別支援学級の児童だけでなく、配慮を要する児童への対応 3 生活目標と連携した共通目標の実践 4 地区学校評価 人権教育にかかる取組の充実 3.7 5 図書貸出冊数 12月末10,797冊 (一人あたり102冊)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ・返事・ありがとう」を共通目標として心の育成に取り組んできた。児童の自己評価が高いのに対して教職員が低くなっているのは、「決まった場所で決まったあいさつをする」だけでなく、時と場に応じたり、どこでもできたりする、より高次のレベルを目指しているからである。子供たちの意識にも浸透できるようにしたい。</li> <li>・特別支援学級の児童だけでなく、配慮を要する児童対応に向けて、すべての教職員で連携し、「誰も一人にしない」対応を目指した。前面白板に全学級の時間割を掲示し、定期的な巡回を行うことで連携をスムーズにできた。</li> <li>・生活目標の振り返りで、心配事を抱えている児童にはすぐに話を聞いて対応した。児童の「一人一人を大切にしてくれる」の評価の高さに、それを実感していることがわかる。</li> <li>・読書活動については、昨年度より貸出冊数は伸びているものの全体的に低い評価。今年度から再開した読書ボランティアグループとも連携して質の向上を図る。</li> </ul>
3 健やかな体 ○体力づくりの推進 ○健康を守る取組と健康・安全教育の推進 ○安全・安心で美しい学校環境 ○安全点検の徹底と安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝運動（ランニング・縄跳び）、外遊びの推奨</li> <li>・体育的行事の充実</li> <li>・感染症対策の見直し、変更</li> <li>・花壇の整備</li> <li>・清掃活動の徹底</li> <li>・危険個所の迅速な修理</li> <li>・安全管理マニュアルの見直しと改善</li> </ul>	A	1 内部評価 児童 保護者 職員 朝運動等体力向上 3.7 3.7 3.7 廊下歩行 3.0 3.1 2.5 清掃・環境美化 3.5 3.4 3.2 安全・安心 3.5 3.5 3.3 2 地区学校評価 教育環境が整っている 3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上については、評価数値にも表れているように、「朝運動」でランニングを継続した。ふれあいマラソン大会でも成果を発表できた。</li> <li>・廊下歩行については、日々の指導だけでなく子供発信の取組も必要。</li> <li>・日々の感染症予防対策は流行期だけでなく意識することが必要。</li> <li>・学年の栽培活動、学校園への全校児童の関わりなど、計画的な活動ができた。</li> <li>・朝運動の後、高学年児童を中心に清掃活動を行うことができた。</li> <li>・学校安心メールで、登下校やインフルエンザ関連など、安心と安全に関する情報を適時に発信できた。</li> </ul>
4 信頼される学校 ○学校教育への理解 ○保護者・地域人材の活用 ○教育相談体制の充実 ○教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種たより、ホームページの充実、安心メールによる情報発信</li> <li>・地域と連携、感動のある学校行事づくり</li> <li>・共通目標のもと、保護者、地域人材を生かした教育活動の推進</li> <li>・定期的な服務規律研修</li> <li>・「不祥事根絶は私から」</li> </ul>	A	1 内部評価 児童 保護者 職員 学級通信・ホームページ なし 3.6 3.5 家庭・地域との連携 3.5 3.7 3.6 悩み等相談 3.4 3.5 3.7 いじめ対応 3.6 3.4 3.8 信頼できる教職員 3.8 3.6 3.8 2 地区学校評価 家庭・地域との協力 4.0 3 学校安心メールでの情報発信 加入率100% 4 校内特別支援委員会や保護者面談の毎月定期実施・適時に追加実施。適応指導教室担当やSCやSSWとの連携 5 服務についての自己温床度チェックの毎月実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校だより」は、定期に発行できたが、ホームページの更新は今年度も課題。</li> <li>・コミュニティ・スクールを12名の委員で年間6回の学校運営協議会を行った。今年度は、4年ぶりの通学合宿が実施できた。ふれあいマラソン大会も、昨年度の反省を生かして実施できた。</li> <li>・働き方改革の意識も浸透して、定時退庁日以外にも早めに退庁する職員が増えた。本年度現在まで、職員の体罰事案等の不祥事はゼロである。</li> <li>・信頼される学校の保護者評価が高い評価となっているのは、一人一人の教職員が日々真摯な対応を心がけてきたことの表れだと思い、今後も丁寧な対応を心がけていく。</li> </ul>

その他の特記事項

参考資料 ○学校評価アンケート（教職員・保護者・児童集計表 11月）○図書貸出冊数調査（4月～12月）○漢字コンクール結果（1, 2学期）○地区学校評価委員アンケート集計結果（6月・11月）○全国学テ・県学テ・市学テ（4月）

